



申4号

「2024年度年末手当に関する申し入れ」

第2回交渉

緑の風 NEWS



JR東労組



JREU
JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2024年11月6日 No.53

第2回年末手当交渉報告

交渉日：2024年11月6日



□組合の主な主張

・業績動向について、単体の営業収益は1兆261億円、対前年687億円の増となった。今決算をコロナ前の2019年3月期決算の同時期と比較すると営業収益は97%まで回復した。この業績をどのように見ているのか。

■会社の主な回答

・社員が職場一丸で取り組んだ結果として、大幅な回復をした決算がある。
・(営業収益は)過去との比較で言えば、コロナ前と極めて近い数字になっているのは事実。**営業利益はそこまでの水準には達していない。**

速報

営業利益だけで判断するのか!?

□組合の主な主張

営業、運車、工務、かんり、きかく、医療、青年層の労働実感、生活実感等、中央本部に寄せられた声を訴える!

■会社の主な回答

・社員の労働実感をしっかり受け止める。
・安全安定輸送の確保へ取り組んで頂き感謝している。社員の皆さんの頑張りと、各系統の取り組みの結果が決算に出ているのは事実である。
・しかし、業績を客観的に見る必要がある。



職場の努力を受けとめると言いつつ、「業績を客観的に見る」と繰り返し回答!

職場の努力に報いない経営姿勢を突破するためにJR東日本で働く者の声をJR東労組へ集約しよう!

「業績を客観的に見る」と繰り返し回答する!
職場の努力を受け止めると言いつつ

第1回交渉と同様に会社は出さない理由を並べる!

私たちの労苦を本当に見みているのか??

職場からのたたかいで満額回答を勝ち取ろう!